

2023



70th

須恵町の
これから

令和5年4月、須恵町は町制施行70年を迎え、同年11月には70周年記念式典を開催。「須恵気質」を大切に、さらなる発展と飛躍への想いを新たにしました。

幼稚園や認定こども園が相次いで開園しました。



60th

2013

写真上：平成25年10月、県道志免須恵線全面開通

写真下：令和元年11月、第66回町制施行記念駅伝競走大会をもって、惜しまれつつ終了

スマートICの運用が始まり、交通が快適になりました。



50th

2003

写真上：平成15年4月、
※ボランティアセンター開館
※現在の地域活性化センター(オイコス)

写真下：平成18年10月、須恵スマートインターチェンジ本格運用開始

眼病人宿

眼病の治療のために岡眼科や田原眼科を訪れた患者が宿泊した宿。明治末に田原眼科が移転し、衰退しました。

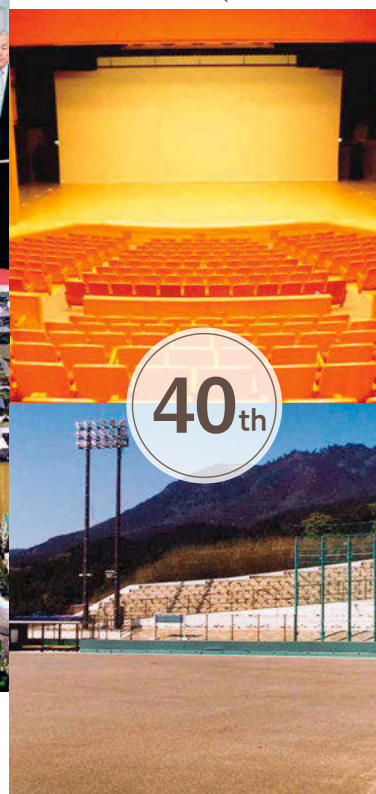


炭鉱産業

艦船用の石炭が採掘された新原海軍炭鉱は、昭和39年に閉山するまで地域の産業を支えました。



文化やスポーツ施設の整備が相次いで進められました。



40th

1993

写真上：平成6年6月、アザレアホール須恵開館

写真下：平成13年5月、運動公園若杉の森開園

昭和から平成へと時代が移り変わりました。



30th

1983

写真上：昭和63年3月、須恵町役場現庁舎落成

写真下：平成元年4月、第1回つづじまつりすえ

須恵町の
昔むかし
須恵町にはさまざまな歴史が息づいています。江戸時代には須恵焼が誕生した他、田原眼科や岡眼科という有名な眼科があり、全国から患者が須恵町を訪れました。明治から昭和時代初期には石炭のまちとして日本の近代化を支えました。町内にはレンガ造りの風情ある通りが残り、往時の面影がしのべられます。



須恵焼誕生

宝暦14年(1764)に須恵焼が誕生。約150年にわたり、幻の筑前磁器として珍重されました。

幼稚園や福祉施設、武道場などの整備が進みました。

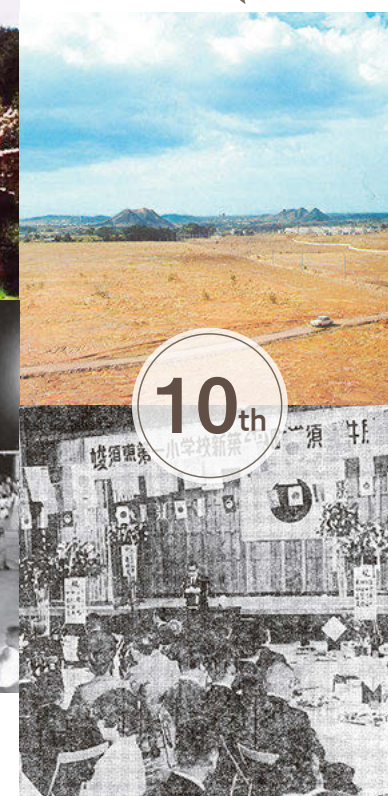


20th

1973

写真上：昭和48年12月、恵山閣開館
写真下：昭和52年8月、盆踊り大会

住宅団地や工業団地の造成が進みました。



10th

1963

写真上：昭和46年3月、新原工業団地造成

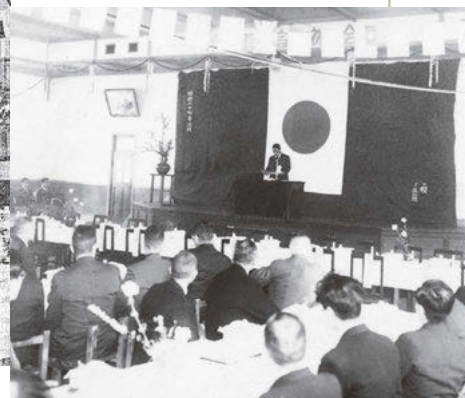
写真下：昭和47年4月、須恵第一小学校が上須恵南米里区に移転開校

須恵町は
町制70周年

SUE TOWN
Anniversary
70th

須恵町の
はじまり

1953



中心産業であった石炭産業の隆盛と人口の増加などを契機として、昭和28年4月に町制を施行し「須恵町」が誕生しました。



炭鉱のまちから、リビングタウンへ
人を大切にしたまちづくり 須恵町